

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当(期末配当金)の基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
インターネットホームページ	http://www.tr.mufg.jp/ 電子公告の方法により行います。 公告掲載URL http://www.nozawa-kobe.co.jp 不測の事態により電子公告によることができない場合は、 日本経済新聞・神戸新聞に掲載します。
公告の方法	
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第2部

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	お手続き・お問い合わせ先
●お取引の証券会社等の口座で管理されている 当社株式に関する配当金振込指定、単元未満 株式買取請求、住所変更等のお手続き	お取引口座を開設されている証券会社
●未受領の配当金に関するお手続き ●特別口座で管理されている当社株式に関する 配当金振込指定、単元未満株式買取請求、 住所変更等のお手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)

特別口座について

特別口座では、株式のご売却はできません。
証券会社に口座を開いたいただき、お持ちの株式を当該口座に振り替えていただきますと、株式のご売却が
可能となるばかりでなく、お持ちの株式の管理や株式に関するお手続きも当該証券会社で一括して行える
ようになり便利です。

この報告書についてのお問い合わせは右記までお願いいたします。 株式会社ノザワ TEL 078-333-4111



この報告書は、環境に配慮
した植物油インキを使って
印刷しています。



株主のみなさまへ

第156期 報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで



証券コード：5237

成長戦略を推進し、「やすらぎと安心の創造」を目指します。

代表取締役社長

野澤 俊也



株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

平成28年4月の熊本地震により、被災されました皆様にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

ここに、当社第156期(平成27年4月1日から平成28年3月31日までの)「報告書」をお届けいたしますので、ご高覧頂きますようお願い申し上げます。

当期の取り組みと業績

■5期連続の増収、営業利益、経常利益とも過去最高

建築材料業界におきましては、建設費高騰に伴う建設計画の延期・中止、投資マインドの低下等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、「やすらぎと安心の創造」の経営理念のもと、環境負荷低減と施工現場省力化を実現し、顧客ニーズに対応する商品の拡充を図ってまいりました。

販売部門では、技能工不足・工期短縮・現場環境改善に貢献する「アスロックS工法(Labor Saving工法)」・「ニューセフティ工法」の商談量を増やすとともに、デザイン・性能に好評を頂いております「グリッドデザインシリーズ」・「工場塗装品」の販売数量を伸ばしました。北陸新幹線の駅舎への採用に続き、平成28年3月26日に開業した北海道新幹線の駅舎及び施設にも採用頂きました。

生産部門では、NNPS(ノザワ・ニュー・プロダクション・システム)改善活動により、各工程の生産性を高め、品質の向上、コスト削減に努めました。

管理部門では、システム構築及び改善を進め、業務の効率化につなげるとともに、有利子負債を圧縮、財務体質の改善に取り組みました。

マイケミカル事業につきましては、販路の拡大に取り組みました結果、肥料の販売数量を伸ばしました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は218億21百万円(前期比4.1%増加)となりました。利益面につきましては、営業利益は31億89百万円(前期比23.2%増加)、経常利益は31億33百万円(前期比19.7%増加)と、連結業績における営業利益、経常利益とも過去最高となりました。しかしながら、中国経済の減速の影響で建設並びに住宅売上が低迷したことにより、「野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司」の保有する機械装置及び運搬具等有形固定資産の全額を減損損失に計上したことに伴い、親会社株主に帰属する当期純利益は15億15百万円(前期比10.9%減少)となりました。

来期の見通し

■更なる増収増益を目指します。

当社グループは、体質強化、収益拡大、飛躍成長の各戦略の着実な実行により、強固な経営基盤を築き、未来へ向けて大きく発展する企業を目指してまいります。当社グループが最も影響を受ける建築材料業界につきましては、先行き不透明な状況が続く中、高層・超高層建築物外壁に要求される機能を備えた「アルカス」や、環境負荷低減をコンセプトとした「グリーンウォール」・「ソーラーウォール」の拡販を推進するとともに、現場省力化、工期短縮に寄与する商品の販売に引き続き注力し、受注数量を更に伸ばしてまいります。

平成29年3月期の連結業績は、売上高220億円、営業利益32億30百万円、経常利益32億円、親会社株主に帰属する当期純利益21億円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

売上高

21,821 百万円

前期比 4.1% 増 ↑



営業利益

3,189 百万円

前期比 23.2% 増 ↑



経常利益

3,133 百万円

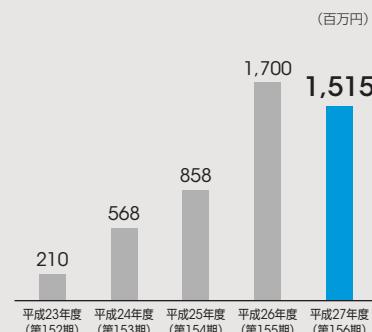
前期比 19.7% 増 ↑



親会社株主に帰属する 当期純利益

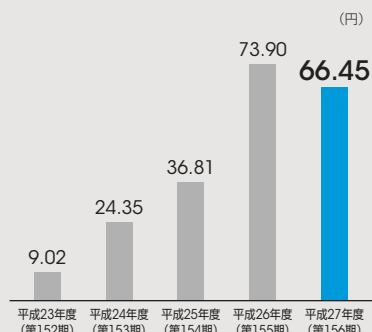
1,515 百万円

前期比 10.9% 減 ↓



1株当たり当期純利益

66.45 円



売上高経常利益率

14.4%





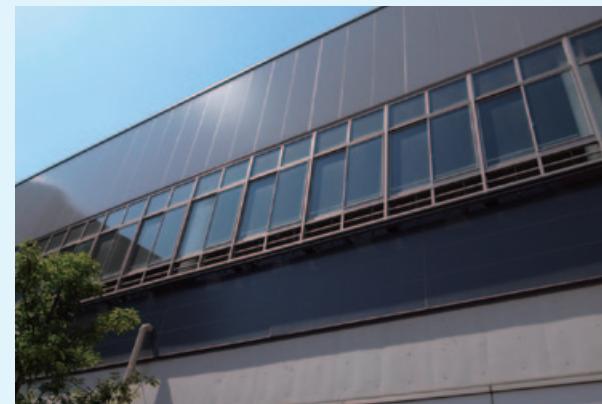
虎ノ門ヒルズ

採用商品: アスロック600
カラーフロン仕上げ
レールファスナー工法 石張り仕上げ



京都水族館

採用商品: アスロック600、アスロック900、プライムライン600
現場タイル・塗装仕上げ



JR金沢駅

採用商品: アスロック900、アスロック600
カラーフロン仕上げ



中京競馬場

採用商品: アスロック600、ストライプライン900
カラーフロン仕上げ



新宿東宝ビル

採用商品: アスロックグリーンウォールビルトインタイプ
アスロック600、プライムライン、リブロック4
現場塗装仕上げ



立命館大学大阪いばらきキャンパス

採用商品: アスロック600、アスロック900、タスロック900
現場タイル張り仕上げ



あべのハルカス

採用商品:
アスロック600
アスロック900
カラーフロン仕上げ



式年遷宮記念 せんぐう館

採用商品: レールファスナー、アルミスバンドレル仕上げ

北海道新幹線にもアスロックが登場

平成28年3月26日 北海道新幹線開業。木古内駅、新函館北斗駅とともに、奥津軽・木古内保守基地、函館車両基地にもアスロックが採用されました。



▲木古内駅
採用商品:アスロック600
サカロックヨロイ
現場塗装仕上げ



▲木古内保守基地
採用商品:アスロック900
現場塗装仕上げ



▲新青森駅
採用商品:アスロック600
タスロック900
現場塗装仕上げ

北海道新幹線



▲新函館北斗駅
採用商品:アスロック600
アスロック900
カラーフロンメタリック



▲函館総合車両基地(管理棟)
採用商品:アスロック600
アスロック900
カラーフロンメタリック・現場塗装仕上げ



▲奥津軽保守基地
採用商品:アスロック900
カラーフロン
現場塗装仕上げ

●ターミナル、関連施設にアスロックが採用されています。

Topics 》ホームページ全面リニューアル

この度、弊社のホームページを全面リニューアルし、公開いたしました。事業内容をより分かりやすくし、デザインや構成を一新しております。皆様が使いやすいホームページを目指しておりますので、今後ともよろしくご厚意申し上げます。



▲公式ホームページ <http://www.nozawa-kobe.co.jp/>



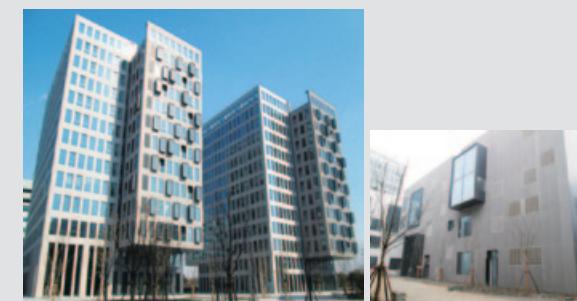
▲アスロック トップページ <http://www.asloc.co.jp/>

海外レポート 》中国公立文化施設・民間プロジェクトへの採用、出荷拡大中

海外事業では、中国大都市圏を中心とした施主・設計院への「アスロック」のPR効果が現れ、文化施設の他、民間の大規模プロジェクトに全面採用される等、一般建築向けの販売数量を伸ばしております。



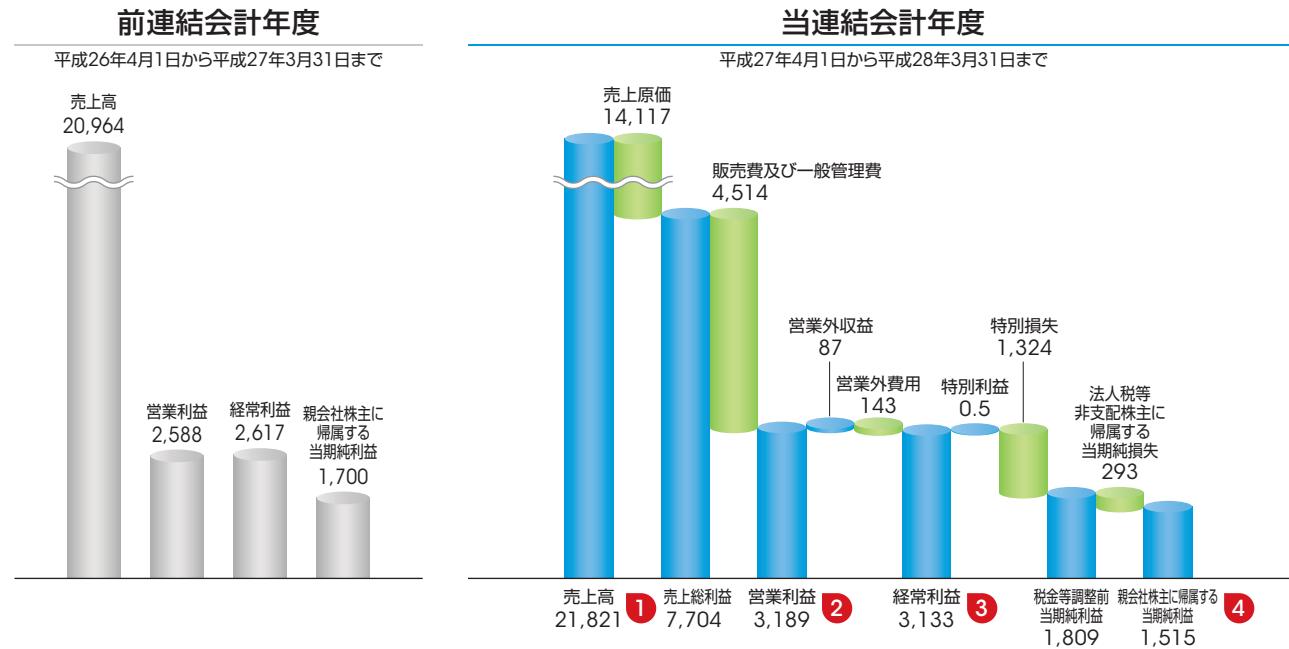
太原師範学院図書館（山西省）（タスロック）



上海張江集電港プロジェクト（Wカットストライプ）

連結財務諸表

□ 連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



POINT

1 売上高の状況

品別売上高につきましては、主力の押出成形セメント板「アスロック」は、141億45百万円(前期比1.9%増加)住宅用軽量外壁材は24億58百万円(前期比11.9%増加)となり、この結果、押出成形セメント製品関連の売上高は166億4百万円(前期比3.3%増加)となりました。スレート関連は、9億36百万円(前期比2.4%減少)となりましたが、耐火被覆等は、16億43百万円(前期比30.2%増加)となったことなどから、当連結会計年度の売上高は、218億21百万円(前期比4.1%増)となりました。

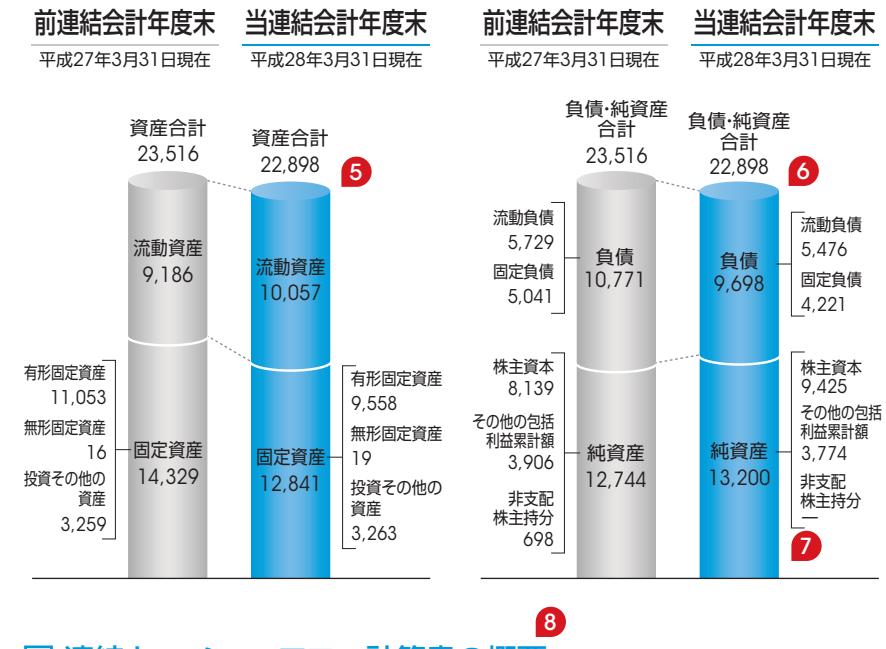
2,3 営業利益・経常利益の状況

主力である押出成形セメント製品が伸長したに加え、生産性の向上、製造原価低減、並びに、経費削減に努めた結果、営業利益は、31億89百万円(前期比23.2%増加)、経常利益は、31億33百万円(前期比19.7%増加)となりました。

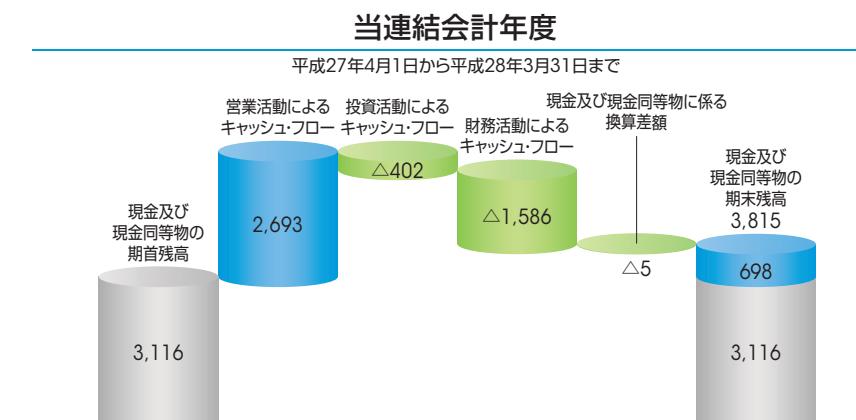
4 親会社株主に帰属する当期純利益の状況

減損損失の計上に伴い、15億15百万円(前期比10.9%減少)となりました。

□ 連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



□ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



POINT

5 資産の状況

「現金及び預金」が6億98百万円増加、「受取手形及び売掛金」が1億77百万円増加しましたが、「有形固定資産」が減価償却及び減損損失の計上等により14億95百万円減少したことなどから、「総資産」は前連結会計年度末に比べ6億17百万円減少の228億98百万円となりました。

6 負債の状況

「借入金」が長期・短期合計で13億29百万円減少したことなどから、「負債合計」は前連結会計年度末に比べ10億73百万円減少の96億98百万円となりました。

7 純資産の状況

非支配株主持分が6億98百万円減少したものの、利益剰余金12億87百万円増加したことなどから、「純資産合計」は前連結会計年度末に比べ4億55百万円増加の132億円となりました。

8 連結キャッシュ・フロー計算書の状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益18億9百万円や減損損失、減価償却費などにより26億93百万円の増加となりました。また、投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより、4億2百万円の減少となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長・短借入金の返済や親会社による配当金の支払いなどにより、15億86百万円の減少となりました。この結果、現金及び現金同等物の期末残高は、38億15百万円となり6億98百万円増加いたしました。

会社概要 (平成28年3月31日現在)

□ 会社概要

社名	株式会社ノザワ NOZAWA CORPORATION
創業	明治30年8月17日
設立	大正2年9月28日
資本金	24億4,900万円
従業員数	316名(連結)
子会社	株式会社ノザワ商事 株式会社ノザワトレーディング 野澤貿易(上海)有限公司 野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司

□ ネットワーク

● 本社 〒650-0035 神戸市中央区浪花町15番地 TEL 078-333-4111 (代)

● 支店・営業所

札幌支店	札幌市中央区大通西1-14-2 (桂和大通ビル50)
仙台支店	仙台市青葉区一番町2-8-15 (太陽生命仙台ビル)
東京支店	東京都中央区新富1-18-1 (住友不動産京橋ビル)
名古屋支店	名古屋市中区錦2-4-15 (ORE錦2丁目ビル)
北陸営業所	金沢市本町1-5-1 (リファール)
関西支店	神戸市中央区浪花町15番地
広島支店	広島市中区小町3-25 (三共広島ビル)
松山営業所	松山市大手町2-9-4 (石丸ビル)
九州支店	福岡市博多区博多駅前1-4-4 (JPR博多ビル)



□ 役員 (平成28年6月29日現在)

代表取締役社長	野澤俊也
専務取締役	佐々木三七司
専務取締役	三原伸夫
専務取締役	田淵義章
専務取締役	坂本茂紀
取締役	三浦後竜一
取締役	肥松村正昭
取締役	西岡誠良
社外取締役	羽尾賀一
社外取締役	犬賀永田
常勤監査役	松吉真
社外監査役	吉田真秀
社外監査役	檀上秀逸

● 研究所

技術研究所 埼玉県深谷市折之口1851-4

● 工場

フラノ事業所 北海道富良野市山部東町4-1
 埼玉工場 埼玉県比企郡吉見町長谷1947
 播州工場 兵庫県加古郡播磨町古宮
 高砂工場 兵庫県高砂市高須1-1

● 海外関連会社

野澤貿易(上海)有限公司
 中国上海市長寧区天山路601号 久強大廈505室
 野澤積水好施新型建材(瀋陽)有限公司
 中国遼寧省瀋陽經濟技術開發区渾河20街15号

株式情報 (平成28年3月31日現在)

□ 株式の状況

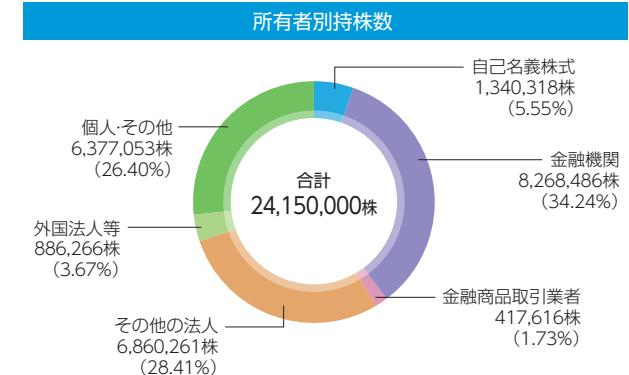
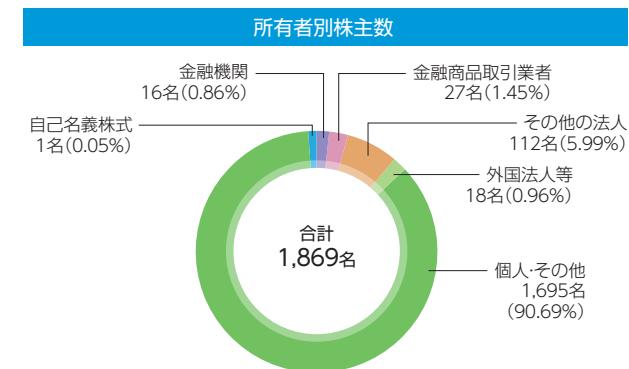
発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	24,150,000株
株主数	1,869名

□ 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,471	6.44
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1,225	5.37
株式会社三井住友銀行	1,135	4.97
神栄株式会社	973	4.26
日本生命保険相互会社	872	3.82
東京海上日動火災保険株式会社	618	2.71
CBC株式会社	603	2.64
日工株式会社	568	2.49
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	525	2.30
株式会社トクヤマ	525	2.30

(注) 持株比率は自己株式(1,340,318株)を控除して計算しております。

□ 株式分布状況



株式併合及び単元株式数の変更について

平成28年10月1日を効力発生日として、当社単元株式数を1,000株から100株に変更すると同時に、当社普通株式2株を1株に併合するものです。詳しくは同封の「第156回定時株主総会決議ご通知」に記載しております「株式併合に伴う当社株式の取り扱いについて」及び当社ホームページ(<http://www.nozawa-kobe.co.jp/>)に掲載している「株式併合及び単元株式数の変更に関するお知らせ」をご覧ください。